

事業番号	06 06 03	事業改善シート（25年度実施事業分）			<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	産業廃棄物適正処理推進事業費				担当課	部局	環境部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・室	資源循環推進課		
	施策の総合的展開	3-1 低炭素で循環型の地域社会づくり			E-mail	junkan@pref.nagano.lg.jp		
		2 循環型社会の形成			実施期間	S46 ~		

1 事業の概要

目指す姿	循環型社会の形成を推進するために、産業廃棄物処理業等の許可事務及び行政処分、並びに産業廃棄物の発生抑制・資源化の促進により、産業廃棄物の適正処理と良好な環境の確保を図る。 成果目標：産業廃棄物総排出量 3,709千t(H20) → 3,600千t(H29)		
現状	・H28までは下水道の普及に伴い構造的に排出増が継続する下水汚泥については微増となっているものの、その他の産業廃棄物排出量は減少傾向にあり、産業廃棄物総排出量全体としては排出抑制は進むと考えられる。		
県が関与する理由	県でなければ実施不可(法令等義務)	【左記の説明、根拠法令等】 都道府県は、産業廃棄物の状況を把握し、産業廃棄物の適正な処理が行われるように必要な措置を講ずることに努めなければならない。【廃棄物の処理及び清掃に関する法律】	
	県民との協働による実施：困難		

事業内容	① 成果目標(H25)						
	○ 産業廃棄物総排出量：3,647千t(H24)【H29年度3,600千tに向け】 □長野県産業廃棄物処理計画の目標値により算出						
	② 事業内容 (単位:千円)						
	項目	実施方法	H25事業実績		H25 (当初)	H25 (決算)	H26 (当初)
	廃棄物処理施設設置審査会	直接	・廃棄物処理施設設置審査会の開催		561	175	556
	産業廃棄物処理業等許可に係る審査資料照会	直接	・廃棄物処理業等の許可に係る審査		651	441	557
	多量排出業者及び準多量排出者に係る計画策定指導	直接	・多量排出業者及び準多量排出者に係る計画策定の指導		139	49	115
	産業廃棄物処理実績報告に係る経費	直接	・産業廃棄物処理の実績報告の受付審査		294	283	301
	ポリ塩化ビフェニル(PCB)廃棄物処理推進事業	出捐金負担金	・(独)環境再生保全機構PCB廃棄物処理基金へ出捐 ・北海道PCB廃棄物処理事業広域協議会への負担金		27,186	27,144	13,155
	阿智処分場用地の維持管理経費	委託直接	・阿智処分場用地の維持管理		3,695	3,398	3,842
産業廃棄物実態調査事業	委託直接	・県内の産業廃棄物の発生量及び処理状況の実態調査並びに分析		-	-	8,909	
訴訟経費	直接	・弁護士着手金		-	669		
事務経費(経常)	直接	・消耗品、コピー使用料等		1,961	2,028	2,025	
合計				34,487	34,187	29,460	

事業コスト	区分(単位:千円)	23年度	24年度	25年度	26年度
	前年度繰越				
	当初予算	47,123	34,673	34,487	29,460
	補正予算	4,500		669	
	合計(A)	51,623	34,673	35,156	29,460
	国庫支出金				
	県債				
	その他()	43,512	26,562	26,376	29,460
	一般財源	8,111	8,111	8,780	0
	決算額(B)	49,615	33,455	34,187	
概算職員数(人)	8.00	8.00	8.00	8.00	
概算人件費(C)	66,064	66,064	66,064	66,064	
概算事業費(B(A)+C)	115,679	99,519	100,251	95,524	

成果目標の達成状況					
項目	H24末(実績)	H25			H26目標
		目標	成果	達成状況	
産業廃棄物総排出量	3,709千t(H20)	3,647千t(H24)	3,677千t(H24)	未達成	3,631千t(H25)
産業廃棄物3R実践協定締結事業者数	145者	155者	148者	未達成	165者

目標に対する成果の状況	下水道の普及に伴って汚泥の排出量が増加したものの、産業廃棄物総排出量は、横ばい傾向となっている。 産業廃棄物3R実践協定締結事業者数は、前年度末を上回ったものの、協定を更新しなかった事業者があったため、目標達成には至らなかった。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 ・第4期廃棄物処理計画の策定(H27年度)に先立って、H26年度に産業廃棄物実態調査を実施し、正確な実態の把握に努める。 ・廃棄物処理施設を巡る紛争が多くあることから、引き続き廃棄物条例の周知を図るとともに、法令等の適切な運用により、廃棄物処理に係る信頼を確保する必要がある。 ・産業廃棄物の排出抑制・資源化の推進に必要な啓発及び施策の検討を行う必要がある。 ・最終処分場のひっ迫に備え、阿智村伍和地区廃棄物処理施設用地を今後も適正に管理する必要がある。
--------------------	---